

第6節 感染症対策事業

各種感染症の発生及びまん延を予防するとともに感染症に対する正しい知識の普及啓発を行うために各種事業を実施している。

1 予防接種事業

予防接種法第5条第1項に基づき、A類疾病の定期接種としてBCG・ポリオ・四種混合・三種混合・二種混合・麻しん・風しん・日本脳炎・子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌・水痘・B型肝炎を、またB類疾病の定期接種としてインフルエンザ・高齢者用肺炎球菌を個別接種方式で実施している。

A類疾病の予防接種の実施状況

(単位：件)

種別	年度	29	30	接種の対象者及び方法		
B	C	G	5,978	6,098	生後0か月～12か月未満	
B型肝炎	1回目		6,091	5,927	生後0か月～12か月未満 27日以上の間隔をおいて2回接種後、1回目から139日以上の間隔をおいて3回目を接種 ※平成28年10月～開始	
	2回目		6,037	5,059		
	3回目		6,080	5,933		
四種混合 百日せき ジフテリア 破傷風 ポリオ	I期	初回	1回目	6,084	6,042	I期初回：生後3か月～90か月未満 I期追加：生後90か月未満（I期初回完了後6か月以上あける） ※平成24年11月～開始
			2回目	6,058	6,096	
			3回目	6,026	6,103	
		6,027		6,027	6,109	
三種混合 百日せき ジフテリア 破傷風	I期	初回	1回目	0	0	I期初回：生後3か月～90か月未満 I期追加：生後90か月未満（I期初回完了後6か月以上あける）
			2回目	0	0	
			3回目	0	0	
		追加		0	0	
二種混合 ジフテリア 破傷風	I期	初回	0	0	I期初回：生後3か月～90か月未満 I期追加：生後90か月未満（I期初回完了後6か月以上あける） II期：11～13歳未満 ※但しI期初回、I期追加について は三種混合が受けられない人が対象	
		追加	0	0		
	II期		4,332	4,719		
急性灰白 髄炎 (ポリオ)	I期	初回	1回目	13	6	I期初回：生後3か月～90か月未満 I期追加：生後90か月未満（I期初回完了後6か月以上あける） ※平成24年9月～開始
			2回目	37	19	
			3回目	64	24	
		追加		181	75	
麻しん ・風しん	I期		6,088	6,055	I期：生後12か月～24か月未満 II期：5歳以上7歳未満の人であって、小学校就学前の 1年間にある人	
	II期		6,100	6,082		
麻しん	I期		17	15	※麻しん単独、風しん単独の接種も可	
	II期		1	0		
風しん	I期		15	10		
	II期		1	0		
日本脳炎			26,832	30,818	I期初回：生後6か月～90か月未満 I期追加：生後90か月未満（I期初回完了後約1年あける） II期：9～13歳未満 ※実施期間は4～6月が望ましい ※平成23年5月20日から積極的勧奨差し控えによる未接種者 (H7.4.2～H19.4.1生まれ)への特例措置開始	
子宮頸がん			60	225	小学6年生相当～高校1年生相当の女子、3回接種	

種別	年度	29	30	接種の対象者及び方法
ヒブ		24,076	23,898	生後2月以上5歳未満の乳幼児、(標準的な接種)生後2ヶ月以上7ヶ月未満に開始した場合、3回接種後7月以上の間隔で1回接種
小児用肺炎球菌		24,214	23,943	生後2月以上5歳未満の乳幼児、(標準的な接種)生後2ヶ月以上7ヶ月未満に開始した場合、3回接種から60日以上の間隔で1回接種
水痘		11,483	11,473	1歳以上3歳未満 (標準的な接種) 1回目接種後6ヶ月から1年の間隔をおいて2回目を接種 *平成26年度のみ経過措置 3歳以上5歳未満(1回接種)

B類疾病の予防接種の実施状況

(単位：人)

種別	年度	29	30	接種の対象者及び方法
インフルエンザ		87,290	89,148	・満65歳以上 ・満60歳～65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する人(身体障害者手帳1級程度)
高齢者用肺炎球菌		14,338	12,666	・当該年度に65・70・75・80・85・90・95・100歳になる人 ※平成26年度のみ100歳以上の人も対象 ・満60歳～65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する人(身体障害者手帳1級程度)

- ・平成26年10月 水痘、高齢者用肺炎球菌が法定接種となる。
- ・平成28年10月 B型肝炎が法定接種となる。

2 感染症対策事業

感染症の予防知識を普及するため啓発活動に努めているほか、発生動向を医療機関の協力を得るなどして調査し関係機関に情報提供している。感染症発生時には患者等の人権尊重に配慮した疫学調査、健康診断及び消毒等の実施、必要時病原体検査等実施している。

感染症発生動向調査の対象感染症は全数把握感染症(1, 2, 3, 4類感染症及び5類のうち全数把握対象)と特定の医療機関を指定して調査する定点把握感染症(5類のうち定点把握対象)に分類される。

法改正により、平成26年9月19日に「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」、「水痘(入院例に限る)」、「播種性クリプトコックス症」が全数把握対象疾患(5類感染症)に追加され、「薬剤耐性アシネトバクター感染症」が定点把握対象疾患から全数把握対象疾患に変更された。平成27年1月21日、「中東呼吸器症候群」、「鳥インフルエンザ(H7N9)」が、指定感染症から全数把握対象疾患に変更。平成28年2月15日、「ジカウイルス感染症」が、四類感染症に追加。平成30年1月1日、「百日咳」が全数把握対象疾患(5類感染症)へ変更。平成30年5月1日より「急性弛緩性麻痺」が五類感染症へ追加となる。

(1) 感染症予防対策

- ・健康教育等による啓発活動・・・各地区における活動として愛育委員、おやこクラブ、栄養委員、元気の出る会、民生委員、また一般市民を対象にして、腸管出血性大腸菌感染症、インフルエンザ等の予防について啓発を行った。

(2) 一、二類感染症発生状況（平成30年中に届出があったもの）

区分	一類 感染症	二類感染症						
		急性灰 白髄炎	結核	ジフテ リア	重症急性 呼吸器症候群 (SARSに限る)	中東呼吸器 症候群 (MERSに限る)	鳥インフ ルエンザ (H5N1)	鳥インフ ルエンザ (H7N9)
届出数	0	0	73	0	0	0	0	0

(3) 三類感染症（5疾病）発生状況（各年中に届出があったもの）

感染症名	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
29年届出数	0	2	18	1	0
30年届出数	0	8	22	0	0

(4) 病原体検査実施状況(平成30年中)

	赤痢菌		腸管出血性大腸菌		腸チフス		インフルエンザ	
	検体数	うち陽性	検体数	うち陽性	検体数	うち陽性	検体数	うち陽性
患者等	20	5	32	14	0	0	28	25
接触者	9	2	41	7	0	0		
総計	29	7	73	21	0	0	28	25

(5) 四、五類感染症発生状況（各年中に届出があったもの）

ア 全数把握対象（一部抜粋）

四類感染症	28年	29年	30年	五類感染症	28年	29年	30年
A型肝炎	1	4	5	アメーバ赤痢	11	13	6
E型肝炎	1	1	1	ウイルス性肝炎（A・E型以外）	1	6	4
日本紅斑熱	0	1	4	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	21	11	16
日本脳炎	1	0	0	急性脳炎（ウエストナイル・日本脳炎以外）	10	5	4
デング熱	0	1	0	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	1	1
マラリア	0	0	0	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	4	7
レジオネラ症	13	14	33	後天性免疫不全症候群	6	13	6
合計	16	21	43	ジアルジア症	0	0	0
				侵襲肺炎球菌感染症	11	13	20
				水痘（入院例に限る）	2	4	1
				梅毒	24	108	99
				播種性クリプトコックス症	2	1	2
				破傷風	2	0	1
				合計	95	179	167

イ 定点把握対象（五類）

延べ 32 の医療機関から週報又は月報により対象 26 疾病の発生動向を調査している。

平成 30 年中の報告数（1 定点あたり年間件数）

小児科定点（14 機関）		眼科定点（5 機関）		基幹定点（1 機関）	
咽頭結膜熱	14.1	急性出血性結膜炎	2, 4	* 性感染症定点兼ねる	
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	124.4	流行性角結膜炎	43.0	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	0
感染性胃腸炎	401.4	性感染症定点（5 機関）		細菌性髄膜炎（髄膜炎菌・肺炎球菌・インフルエンザ菌を除く）	2.0
水痘	21.6	性器クラミジア感染症	23.2	マイコプラズマ肺炎	9.0
手足口病	16.8	性器ヘルペスウイルス感染症	7.0	無菌性髄膜炎	0
伝染性紅斑	8.4	尖圭コンジローマ	16.0	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0
突発性発疹	37.8	淋菌感染症	7.6	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	11.0
ヘルパンギーナ	22.8	インフルエンザ定点 （小児科 14・内科 8 機関）		薬剤耐性緑膿菌感染症	1
流行性耳下腺炎	8.9	インフルエンザ（鳥インフル・新型インフルエンザ除く）	322.9	感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）	21.0
RS ウイルス感染症	31.0				

ウ 社会福祉施設等における感染症等の発生時対応

通常の発生動向を上回る感染症の発生が疑われた場合など、社会福祉施設等からの報告を受け、積極的疫学調査の実施と衛生上の指導を行っている。

平成 30 年度 相談件数

種 別	感染性胃腸炎			インフルエンザ			その他			
	相談件数	立ち入り施設数		相談件数	立ち入り施設数		相談件数	立ち入り施設数		
		実数	延べ		実数	延べ		実数	延べ	
介護・老人 福祉関係施設	特別養護老人ホーム	0	0	0	6	0	0	0	0	0
	養護老人ホーム	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認知症グループホーム	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	有料老人ホーム	0	0	0	6	0	0	0	0	0
	介護老人保健施設	0	0	0	6	1	1	2	0	0
児童・婦人関係施設	保育所	24	0	0	62	0	0	6	0	0
	乳児院等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	2	1	1	13	0	0	0	0	0	0
合計	27	1	1	94	1	1	8	0	0	0

3 結核予防事業

結核予防法が廃止となり、結核は平成 19 年 4 月 1 日に感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律で二類感染症に位置づけられた。法律に基づき、結核患者の登録管理及び医療費の公費負担を行うとともに、接触者の健康診断及び一般の方の定期健診を実施し早期発見に努めている。

結核登録者数

区分 年度	人口	新登録患者								別掲 転 入	登録除外者						年末現在登録数									
		患者 総 数	肺結核活動性 感染症			肺 外 結 核 患 者 の 活 動 性 率	潜 在 性 結 核 感 染 症	除 外 総 数	死 亡 結 核		治 癒	転 出	転 入	そ の 他	登 録 者 数	肺結核活動性 感染症			肺 外 結 核 患 者 の 活 動 性	不 活 動 性	不 明	登 録 率				
			喀 痰 塗 抹 陽 性	そ の 他 の 菌 陽 性	計											陰 性 ・ そ の 他	登 録 時 喀 痰 塗 抹 陽 性	登 録 時 そ の 他 の 菌 陽 性					計	陰 性 ・ そ の 他		
																									性	性
28	708,709	77	28	15	43	14	20	10.9	49	9	82	8	14	44	6	7	3	217	18	15	33	7	14	163	0	30.6
29	709,302	80	34	24	58	15	7	11.3	82	5	99	9	28	38	1	14	9	204	14	14	28	8	3	165	0	28.7
30	709,396	73	21	28	49	9	15	10.3	63	9	96	6	26	39	4	5	16	181	12	14	26	7	12	136	0	25.5

(1) 健康診断

患者発見のため、事業所、学校及び施設においてはその長及び事業者が、それ以外の一般住民については市長が実施義務者となり、また患者の接触者に対しては、市長が実施責任者となって接触者健康診断を実施している。

ア 健康診断実施状況（法第 53 条の 2 第 3 項）（単位：人）

区分 年度	定期健康診断（法第 53 条の 2 第 3 項）									
	対 象 者 数	間 接 撮 影 者 数	直 接 撮 影 者 数	受 診 者 数	要 精 密 検 査 者 数	精密検査			被発見者数	
						直 接 撮 影 者 数	断 層 撮 影 者 数	喀 痰 検 査 者 数	結 核 患 者 数	結 核 発 病 の お そ れ が あ る と 診 断 さ れ た 者 数
28	227,101	9,755	44,181	53,936	327	-	-	-	0	0
29	229,200	0	55,820	55,820	533	-	-	-	0	0
30	230,869	0	53,494	53,494	462	-	-	-	0	0

イ 接触者検診実施状況（法第 17 条）（単位：人）

区分 年度	受診者数					検診結果	
	保 健 所 分	受 託 医 療 機 関 分	連 絡 票 他	計	結 核 患 者 数	*結核の発病のおそれのあるもの (LTBI 含む)	
28	0	722	202	924	1	78	
29	0	1,842	12	1,854	2	60	
30	0	673	579	1252	7	70	

ウ 岡山市結核健康診断費等補助金交付状況（法第 60 条第 1 項）

○ 交付対象事業：学校又は施設（国公立の学校又は施設を除く）の長が実施する定期の健康診断

（法第 53 条の 2 第 1 項）。平成 19 年度から交付対象に直接撮影を追加。

○ 平成 30 年度交付施設数：83 施設

○ 平成 30 年度事業実施状況：受診者数 11,708 人

（間接撮影 4,255 人、直接撮影 7,453 人）

(2) 患者管理

結核患者の症状、受診状況を把握し、治癒できるように支援するとともに周囲への感染防止を図り、必要な者に対し管理検診を実施している。（法第 53 条の 13）

管理検診実施状況

（単位：人）

年度	受診者数				計	検診結果	
	保 実	健 施	所 分	受託医療機関 実 施 分		結核患者数	結核の発病の おそれのあるもの
28			0	137	267	0	158
29			0	169	270	0	161
30			0	189	306	0	155

(3) 結核医療費

一般患者の医療費に対して（法第 37 条の 2）と、法第 19 条、20 条に基づく勧告・措置入院患者に対して（法第 37 条）、公費負担制度が設けられている。

ア 法第 37 条の 2 による医療費の公費負担件数（一般患者）

（単位：人）

年度	被用者保険			国民健康保険			生活保護法			後期高齢者医療			その他					
	本人			家族														
	申請	合格	承認	申請	合格	承認	申請	合格	承認	申請	合格	承認	申請	合格	承認			
28	22	22	22	9	9	9	33	33	33	8	8	8	51	51	51	0	0	0
29	31	31	31	10	10	10	40	40	40	7	7	7	55	54	54	0	0	0
30	27	27	27	9	9	9	46	46	46	5	5	5	39	39	39	0	0	0

平成 30 年度支払延件数・・・1,065 件

イ 第 37 条による医療費の公費負担件数（勧告・措置入院患者）

（単位：人）

年度	区分	前年末現在	本年承認数	本年解除件数	本年末現在
28		10	32	31	11
29		11	43	47	7
30		7	30	30	7

4 エイズ対策事業

エイズのまん延を防止するため、抗体検査やカウンセリング、正しい知識の普及啓発活動を実施している。

(1) **エイズ・性感染症(STD)・性教育出前講座** (岡山市エイズ・性感染症(STD)・性教育出前講座実施要綱)

地域住民、学校、企業等がエイズに関する理解を深める学習会等を開催する場合に、専門講師(出前講座)や保健所職員等(ミニ講座)の派遣を行っている。

実施状況

年度	区分	出前講座		ミニ講座	
		回数	受講者数	回数	受講者数
28		77	14,989	2	330
29		78	13,788	3	452
30		78	12,151	3	123

(2) **エイズ対策研修会**

男性同性間の性的接触による HIV 感染者、エイズ患者報告数が増加傾向にある。また、エイズは治療薬の進歩により慢性疾患化しており、患者への長期的な支援体制の整備が必要とされている。そのため、それぞれ医療関係者を対象に研修会を実施した。

岡山県・倉敷市と共催

日時：平成 30 年 6 月 20 日 (水) 13:30～16:10

「MSM 検査対応向上研修」

日時：平成 31 年 1 月 21 日 (月) 19:00～20:40

「梅毒、肝炎にポイントをおいた HIV 感染症最新情報」

(3) **世界エイズデーにおける普及啓発活動**

世界エイズデー(12月1日)にあたり、エイズ・HIVに関する知識普及、感染予防の理解及び差別偏見の払拭などについて総合的かつ集中的な啓発活動を行っている。

平成 30 年度世界エイズデー啓発テーマ

「UPDATE! エイズ治療のこと エイズ検査のこと」

[世界エイズデーin 岡山] 大学祭において実施

日時：中国学園大学 平成 30 年 10 月 13 日 (土) 10:00～16:00

山陽学園大学 平成 30 年 10 月 20 日 (土)、21 日 (日) 11:00～14:00

就実大学・就実短期大学 平成 30 年 10 月 28 日 (日) 10:00～15:00

内容：エイズカフェ、エイズキルト・パネル展示等

[エイズキルト・パネル展示] 岡山市役所 1 階市民ホール

日時：平成 30 年 11 月 28 日 (水)・11 月 29 日 (木)

[夜間無料エイズ・性感染症相談、検査] 岡山市保健所

日時：平成 30 年 12 月 3 日 (月) 17:00～20:00、12 月 4 日 (火) 17:00～20:00

(4) HIV 検査普及週間における普及啓発活動

HIV 検査普及週間（6月1日～6月7日）、利便性の高い検査体制の構築と、HIV 検査の浸透・普及啓発活動。

〔夜間無料エイズ・性感染症相談、検査〕岡山市保健所

日時：平成30年6月4日（月）17:00～20:00

6月5日（火）17:00～20:00

5 特定感染症検査等事業

HIV 抗体検査及びエイズに関する相談、性感染症検査、B・C型肝炎検査を同時に実施することで受検者の利便性を高め、これら感染症のまん延の防止及び発生の予防等を図るため実施している。

*B・C型肝炎は平成30年度より HIV 抗体検査と同時実施へ変更（通常検査のみ）

区分		28年度	29年度	30年度
来所・電話による相談		1,580	1,623	2,155
うちエイズホットライン		649	761	1,116
検査 内容	エイズ	378	431	501
	クラミジア	278	319	368
	うち（男性・女性）	（男198・女80）	（男239・女80）	（男259・女109）
	淋菌	278	319	369
	梅毒	378	430	500
	B型肝炎	10	6	275
	C型肝炎	10	6	274
合計件数		1,332	1,511	2,287

(1) 特定感染症検査等事業

検査日時：第1月曜日 13:00～16:00、第1・第3水曜日 9:00～12:00

偶数月第1月曜日（夜間即日検査）17:20～20:00

（平成18年2月から夜間検査、平成28年6月から夜間即日検査実施）

(2) ウイルス性肝炎患者等の重症化予防推進事業

ウイルス性肝炎のまん延防止及び治療対策の推進を図ることを目的とし、保健所と一次専門医療機関（122医療機関）でウイルス性肝炎検査を実施している。

区分 年度	保健所		一次専門医療機関		会場検査		合計件数	
	B型	C型	B型	C型	B型	C型	B型	C型
28	10	10	359	360	433	433	802	803
29	6	6	428	428	289	289	723	723
30	277	276	432	432	325	325	1034	1033

第7節 地域保健活動

1 地区組織育成

市民が主体的に保健衛生活動に参加できるよう、ボランティア団体の育成支援を行っている。

(1) 岡山市愛育委員協議会

母子保健及び老人保健を中心に、訪問活動や健康相談・健康診査事業等への協力、市からの委託事業などを行っている。平成30年度は学区・地区愛育委員会数98学区・地区で協議会を構成している。

区分 年度	委員数	の一世受人 受けあ 数持た ちり	主体活動					協力活動		委託活動	
			会議		研修会		訪問	回数	協力 委員数	回数	協力 委員数
			回数	参加人 数(延)	回数	延人員	参加人 数(延)				
29	5,505	58.4	2,000	38,550	886	18,601	392,841	5,901	20,162	2,200	25,794
30	5,523	58.8	1,991	38,430	931	20,002	403,799	5,658	19,794	1,666	23,987

(2) 岡山市栄養改善協議会

地区の食生活改善のための普及活動、健康教育への協力、市からの委託事業などを行っている。平成30年度の学区・地区栄養改善協議会数は88学区・地区で協議会を構成している。

区分 年度	委員数	一人あたり の受け持ち 世帯数	主体活動		協力活動		委託活動	
			回数	参加人数 (延)	回数	協力 委員数	回数	協力 委員数
29	1,890	170.1	3,010	108,360	64	910	463	3,727
30	1,897	171.1	2,778	91,397	73	961	469	3,846

2 保健師活動

地域の身近な相談者として、質の高い保健サービスが提供できるよう資質の向上や体制づくりに努めると共に、それぞれの健康レベルやライフステージに応じた保健活動とソーシャルキャピタルの醸成による市民主体の健康なまちづくりを推進している。

家庭訪問の稼働時間割合は、14.86%であり、対象別訪問状況（延人数）は9,036人で、平成29年度の稼働時間、訪問人数とほぼ横這いであった。ただ、H30年度は7月の西日本豪雨災害時の災害地域への訪問活動が4のとおり2,396件実施しており、それを合わせると全体の訪問活動は増加している。

対象別訪問活動では、母子保健（乳幼児・児童虐待・産婦等）の延べ人数が75%以上を占めており、母子保健に関する訪問活動が多い。特に妊婦訪問については、過去10年間で最も訪問件数が多く、これは、平成28年から開設された「産前産後相談ステーション」や医療機関との連携によるものが大きく、妊娠期からの切れ目のない支援の体制が進んでいると考えられる。

「ケア・コーディネーション」の稼働時間割合は、個別9.78%で地域21.72%と合わせると、31.5%で、平成29年度とほぼ横這いで、引き続き取り組んでいる生活支援体制整備事業を通じた地域包括ケアシステム構築のための関係機関とのネットワークづくりや、産前からの切れ目のない支援の強化によるものが大きいのではないかと考える。

(1) 保健師活動状況

区分	年度	平成 29 年度 (6月・10月の2か月間集計)		平成 30 年度 (6月・10月の2か月間集計)	
		稼働時間	割合(%)	稼働時間	割合(%)
家庭訪問		3,939.0	14.03	4,135.0	14.86
機能訓練		4.5	0.02	16.0	0.06
グループワーク		616.0	2.19	507.0	1.82
健康相談		1,483.0	5.28	1439.0	5.17
面接		4,209.0	14.99	5,114.0	18.38
電話					
組織育成		2,682.5	9.55	2,501.5	8.99
健康教育		799.0	2.85	662.0	2.38
健康診査		1,572.5	5.60	1,503.5	5.40
ケア・コーディネーション	個別	2,875.0	10.24	2,722.0	9.78
	地域	6,156.0	21.93	6,044.0	21.72
地区管理		182.0	0.65	40.0	0.14
調査研究		119.5	0.43	94.0	0.34
研修企画		237.0	0.84	287.0	1.03
研修参加		1,021.0	3.64	1,062.5	3.82
業務管理		422.0	1.50	482.0	1.73
実習生指導		167.0	0.59	170.0	0.61
予防接種		0.0	0.00	4.0	0.01
業務連絡・事務		1,489.0	5.30	1,310.0	3.70
他の保健福祉事業		34.0	0.12	0	0.00
その他		67.0	0.24	15.0	0.05
計		28,075.00	100.00	27,829.5	100.00

*稼働時間は、平成 26 年度から 6 月・10 月の 2 か月間集計

(2) 対象別訪問状況 (延人数)

区分	感 染 症	結 核	認 知 症 高 齢 者	そ の 他 精 神 障 害 者	ア ル コ ー ル 依 存 症	思 春 期	生 活 習 慣 病 (老 保)	そ の 他 の 生 活 習 慣 病	未 熟 児	新 生 児	乳 児	幼 児	児 童 虐 待	妊 婦	産 婦	心 身 障 害 児 者	小 児 慢 性 特 定 疾 患	難 病	ね た き り 老 保	そ の 他	計
29	0	354	8	1530	25	1	98	14	185	643	1,721	1,526	1,188	295	1,382	75	27	108	0	91	9,271
30	16	328	5	1,412	31	1	113	7	199	596	1,679	1,570	1,180	338	1,322	64	16	81	0	78	9,036

(3) 対象別活動状況 (延人数)

(人)

	家 庭 訪 問	面 接	電 話	健 康 相 談	健 康 診 査	健 康 教 育	グ ラ フ ー プ ク	機 能 訓 練	組 織 育 成	コーディネイト		計
										個 別	地 域	
感 染 症	16	869	1,196	0	0	6175	0	0	0	138	58	8,452
結 核	328	237	1,709	0	0	0	0	0	0	370	49	2,693
エ イ ズ	0	343	56	0	0	123	0	0	0	0	2	524
妊 産 婦	1,660	825	2,275	0	0	0	0	0	0	991	354	6,105
乳 児	2,474	155	1,989	7,691	0	467	0	0	0	345	68	13,189
幼 児	1,570	179	3,927	297	11,544	0	935	0	9,427	586	246	28,711
児 童 虐 待	1,180	166	2,196	0	0	637	169	0	0	5,842	404	10,594
成人・高齢者	120	17,535	4,642	245	14	10,374	0	0	0	306	471	33,707
思 春 期	1	39	161	0	0	4,335	0	0	0	5	89	4,630
精 神 保 健	1,448	1,559	7,332	45	0	3,752	757	0	0	1,621	384	16,898
小児特定慢性疾患	16	186	829	0	0	0	0	0	0	33	4	1,068
心身障害児者	64	8	225	0	0	0	0	0	0	116	61	474
難 病	81	5,586	3,854	0	0	385	0	0	0	1,211	39	11,156
そ の 他	78	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	78
健 康 一 般	0	648	2,596	863	0	22,015	3,570	0	38,262	525	3,762	72,241
計	9,036	28,335	32,987	9141	11,558	48,263	5,431	0	47,689	12,089	5,991	210,520

・保健所・保健センターの保健師活動状況をまとめたものである。

・ケア・コーディネーションとは、「保健・医療及び福祉の連携のもとで最適なサービスを総合的に提供するための調整を行う」ことである。

3 地域保健推進会議

住民・医療機関・保健・福祉関係者等から身近な意見を聞いたり、情報交換をすることにより地域特性をふまえた地域保健福祉活動を効果的総合的に推進するため、平成 10 年度から保健センター毎に設置した。

< 委 員 >

- (1) 保健・福祉・医療関係団体等
 - (2) 地区住民ボランティア組織等
 - (3) 保健・福祉行政機関職員
 - (4) その他地域で保健福祉活動をしている者
- 上記(1)～(4)から代表者を選出
任期は 2 年 (再任を妨げない)

<開催状況>

各保健センターで年1回以上開催する。

※ 平成30年度各保健センター共通議題

- ① 保健センターの概況について
- ② 保健センターの重点活動について
- ③ 意見・情報交換「西日本豪雨災害における保健所の対応と課題」
- ④ その他

※ 平成30年度保健センター別開催状況

保健センター名	日 程	出席者数
北区中央保健センター	9月19日（水）	28人
北区北保健センター	8月9日（木）	25人
中区保健センター	9月14日（金）	20人
東区保健センター	9月6日（木）	27人
南区西保健センター	8月22日（水）	24人
南区南保健センター	8月21日（火）	27人

4 平成30年7月豪雨災害に対する岡山市管内での保健活動

(1) 経過

平成30年6月28日から7月8日頃にかけて、停滞した梅雨前線や台風第7号の影響で、西日本を中心に全国的に広い範囲で集中豪雨が発生した。当市においては、岡山市東部を流れる砂川の堤防が決壊し、東区平島学区の床上、床下浸水を始めとし、旭川の堤防決壊による北区御津から津高、陵南他、中区、南区全域におよぶ被害となった。

(2) 岡山市の被災状況

- ア 人的被害：死亡者2名（総社市にて）、行方不明者0名、重傷者0名、軽傷者4名
- イ 住家被害：全壊7棟、半壊996棟、一部損壊7棟
床上浸水2,237棟、床下浸水4,389棟
- ウ 非住家被害：全壊0棟、半壊0棟、一部損壊0棟、床上浸水4棟、床下浸水0棟

(3) 保健所の対応状況について

ア 保健師による家庭訪問

7月9日より保健師が、健康相談や家屋の消毒方法の説明等のため床上浸水エリアを中心に家庭訪問を行った。

訪問件数：7月9日～7月31日 2,396件

イ 他都市からの受援

7月11日から7月13日まで赤磐市、備前市より16名の保健師の受援を要請し家庭訪問に従事した。

ウ 保健師による避難所支援

避難所開設後、本部からの派遣依頼により、避難者の健康相談等を行った。

派遣避難所延べ件数：7月7日～7月29日 46カ所

エ 浸水後の消毒に関する問い合わせ対応

問合せ件数：7月8日～7月31日 758件

オ 岡山市被災者支援臨時窓口の対応

ゆめタウン東平島店内に「岡山市被災者支援臨時窓口」が7月12日に設置されたことにより保健所ブースを設け、保健所職員による消毒・健康相談を行った。

相談件数：7月12日～24日 417件

カ みなし仮設住宅避難者の支援

みなし仮設住宅避難者に対しての健康・生活再建などについての相談を行うため、保健師による電話連絡や家庭訪問を行った。

対応件数：9月6日～平成31年3月末 24件

5 平成30年7月豪雨災害に対する倉敷市への保健活動

7月27日岡山県保健福祉課より倉敷市への災害派遣要請があり、「岡山県及び県内市町村の災害時相互応援協定」に基づき、8月より派遣実施する。

(1) 活動内容

期 間：8月4日～8月30日

派遣職員：27チーム 延81名（1チーム保健師2名ロジ1名）

活動内容：指定避難所（真備町岡田小学校）での保健師による健康相談およびロジによる環境整備業務等

第6章 生活衛生事業

第 1 節 食品衛生事業

第 2 節 食肉衛生事業

第 3 節 藥事衛生事業

第 4 節 環境衛生事業

第 5 節 動物衛生事業

第1節 食品衛生事業

食品衛生法に基づき策定した「平成30年度岡山市食品衛生監視指導計画」に従い、食品関係営業施設に立ち入り指導した。これら施設で製造・販売される食品の収去検査を行い、食中毒等の事故防止及び不良食品等の排除に努めた。

特に、夏期においては、腸炎ビブリオ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌O157等の細菌性食中毒防止の指導を重点的に行い、冬期においては、ノロウイルス及びふぐの食中毒防止の指導を重点的に行った。

1 食品営業施設及び監視指導状況

(1) 許可を要する食品営業施設及び監視指導件数

許可を要する食品営業施設は市内14,018施設あった。

監視指導件数は、5,988件であった。

(2) 許可を要しない食品営業施設及び監視指導件数

許可を要しない食品営業施設は市内5,537施設あった。

監視指導件数は、2,918件であった。

(3) 総合衛生管理製造過程承認施設

総合衛生管理製造過程の承認を受けている1施設に対し、外部検証を行いHACCPシステムの有効性を確認し、必要な助言を行った。

(4) 営業許可

営業許可件数は新規1,547件、継続1,116件であった。

(5) 収去検査及びふき取り検査

収去検査は理化学検査及び細菌検査を実施し、727検体の検査を行い、そのうち食品衛生法の規格・基準に適合しなかった食品はなかった。

また、ふき取り検査を173検体、フードスタンプを185検体行った。

2 行政処分等状況

(1) 営業停止が2件であった。

(2) その他の処分及び措置についてはなかった。

ア 許可を要する食品関係営業施設監視指導状況

平成30年度

業種	区分	営業施設数	監視件数						許可件数	
			28年度		29年度		30年度		新規	継続
飲食店営業	一般食堂・レストラン等	3,638	1,585	(599)	1,366	(511)	1,407	(555)	299	301
	仕出し屋・弁当屋	421	224	(65)	215	(56)	216	(86)	32	41
	旅館	121	67	(0)	24	(0)	26	(0)	3	9
	その他	3,888	1,314	(169)	1,186	(120)	1,207	(125)	595	302
菓子製造業		968	375	(99)	381	(84)	352	(96)	165	69
乳処理業		3	4	(0)	2	(0)	7	(0)	1	0
特別牛乳さく取処理業		0	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	0
乳製品製造業		10	5	(0)	9	(0)	12	(0)	0	0
集乳業		0	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	0
魚介類販売業		852	1,364	(1,162)	1,232	(1,029)	1,152	(943)	76	78
魚介類せり売り営業		2	130	(129)	125	(125)	133	(133)	0	0
魚肉ねり製品製造業		5	3	(0)	2	(0)	4	(0)	0	2
食品の冷凍または冷蔵業		69	22	(2)	24	(2)	29	(2)	4	4
かん詰又はびん詰食品製造業		42	14	(0)	15	(0)	12	(0)	7	1
喫茶店営業		1,541	131	(54)	129	(75)	114	(55)	187	103
あん類製造業		7	2	(0)	2	(0)	1	(0)	0	0
アイスクリーム類製造業		11	11	(5)	8	(0)	13	(4)	1	0
乳類販売業		1,254	445	(184)	379	(159)	398	(176)	92	114
食肉処理業		40	45	(36)	39	(29)	47	(32)	4	4
食肉販売業		841	501	(288)	460	(263)	570	(380)	71	67
食肉製品製造業		14	4	(0)	7	(0)	7	(0)	0	3
乳酸菌飲料製造業		5	2	(0)	3	(0)	5	(0)	0	1
食用油脂製造業		1	0	(0)	1	(0)	1	(0)	0	1
マーガリン又はショートニング製造業		0	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	0
みそ製造業		29	7	(0)	4	(0)	5	(0)	0	1
醤油製造業		12	4	(0)	4	(0)	5	(0)	0	0
ソース類製造業		15	2	(0)	8	(0)	5	(0)	0	5
酒類製造業		9	4	(0)	3	(0)	1	(0)	0	0
豆腐製造業		18	9	(0)	2	(0)	2	(0)	0	1
納豆製造業		0	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	0
めん類製造業		43	16	(0)	16	(0)	8	(0)	2	1
そうざい製造業		116	253	(200)	241	(177)	233	(185)	7	6
添加物製造業		14	3	(0)	4	(0)	7	(0)	0	2
食品の放射線照射業		0	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	0
清涼飲料水製造業		20	10	(0)	8	(0)	8	(0)	1	0
氷雪製造業		3	2	(0)	1	(0)	0	(0)	0	0
氷雪販売業		6	1	(0)	0	(0)	1	(0)	0	0
総数		14,018	6,559	(2,992)	5,900	(2,630)	5,988	(2,772)	1,547	1,116

※ () 書きは、保健所衛生課市場駐在所の監視件数(再掲)

イ 許可を要する食品営業施設の行政処分状況

平成30年度

処分年月日	業種	違反条項	適用条項	違反内容	処分及び措置内容
H30.7.27	飲食店営業	食品衛生法第6条	第55条	食中毒	営業停止
H31.2.1	飲食店営業	食品衛生法第6条	第55条	食中毒	営業停止

ウ 許可を要しない食品関係営業施設監視指導状況

平成30年度

業種	区分	施設数	監視件数					
			28年度		29年度		30年度	
集団給食	学校	60	38	(0)	30	(0)	30	(0)
	病院・診療所	47	11	(0)	18	(0)	15	(0)
	事業所	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
	その他	228	91	(0)	99	(0)	97	(0)
乳さく取業		28	0	(0)	0	(0)	0	(0)
食品製造業		379	222	(197)	172	(132)	167	(132)
野菜・果物販売業		1,057	1,057	(987)	1,056	(951)	1,021	(882)
そうざい販売業		1,033	339	(268)	342	(236)	373	(236)
菓子販売業		1,100	236	(162)	227	(116)	257	(104)
食品販売業		1,450	666	(591)	591	(480)	602	(449)
添加物製造業*		3	0	(0)	0	(0)	0	(0)
添加物販売業		81	3	(0)	64	(0)	109	(0)
氷雪採取業		0	0	(0)	0	(0)	0	(0)
器具・容器包装等製造業又は販売業		71	210	(183)	230	(168)	247	(150)
総数		5,537	2,873	(2,388)	2,829	(2,083)	2,918	(1,953)

()書きは、保健所衛生課市場駐在所の監視件数(再掲)

※法第11条第1項の規定により規格が定められたものを除く。

エ 許可を要しない食品営業施設の行政処分状況

平成30年度

該当なし

オ 食中毒発生状況

平成30年度

発 生 年 月 日	発 生 場 所	患 者 数	死 者 数	原 因 食 品	病 因 物 質	原 因 施 設
H30.7.24	岡山市	1	0	湯煮したふぐの肝臓	テトロドトキシン	家庭
H30.7.24	岡山市	13	0	不明 (仕出し弁当)	黄色ブドウ球菌	仕出し屋
H31.1.27	岡山市	49	0	不明 (宴会料理)	ノロウイルスGⅡ	飲食店

カ 年度別食中毒発生状況

平成30年度

年 度	発 生 件 数	患 者 数	死 者 数
平成26年度	3	38	0
平成27年度	6	49	0
平成28年度	6	80	0
平成29年度	5	56	0
平成30年度	3	63	0

3 衛生教育実施状況

平成30年度

	実 施 件 数	受 講 者 数
一 般 消 費 者	3	134
食 品 関 係 営 業 者	36	2,670
そ の 他	1	24
総 数	40	2,828

※実施件数・受講者数には、依頼等により講習会に講師を派遣した件数、受講者数を含む。

4 収去検査状況及びふき取り検査

平成30年度

	検 体 数		不 適 合 件 数			
	理化学検査	細菌検査	規格基準	表 示	その他	総 数
魚 介 類	23	90	0	0	0	0
冷 無 加 熱 摂 取	0	5	0	0	0	0
凍 凍 結 前 加 熱 加 熱 後 摂 取	0	5	0	0	0	0
食 凍 結 前 未 加 熱 加 熱 後 摂 取	0	10	0	0	0	0
品 生 食 用	0	0	0	0	0	0
魚 介 類 加 工 品	10	76	0	0	0	0
肉 ・ 卵 類 加 工 品	17	64	0	0	0	0
乳 製 品	31	31	0	0	0	0
乳 及 び 乳 類 加 工 品	16	17	0	0	0	0
アイスクリーム類・氷菓	15	15	0	0	0	0
穀 類 及 び そ の 加 工 品	18	63	0	0	0	0
野 菜 ・ 果 物 及 び そ の 加 工 品	97	169	0	0	2	2
菓 子 類	15	16	0	0	0	0
清 涼 飲 料 水	12	12	0	0	0	0
酒 精 飲 料	16	0	0	0	0	0
氷 雪	0	0	0	0	0	0
水	12	12	0	0	0	0
か ん 詰 ・ び ん 詰 食 品	5	0	0	0	0	0
そ の 他 の 食 品	5	0	0	0	0	0
添加物(規格が定められた添加物)	0	0	0	0	0	0
添 加 物 (上 記 以 外)	0	0	0	0	0	0
器 具 及 び 容 器 ・ 包 装	0	0	0	0	0	0
お も ち や	0	0	0	0	0	0
ふ き 取 り	0	173	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0
総 数	292	758	0	0	2	2

※不適合件数の『その他』は、衛生規範、通知等で定められた基準によるものである。

5 苦情処理の状況

平成30年度

	苦 情 処 理 件 数		
	平 成 28 年 度	平 成 29 年 度	平 成 30 年 度
身 体 の 異 常	136	108	106
食 品 の 腐 敗 変 敗	14	14	12
施 設 及 び 周 辺 の 不 衛 生	37	33	35
食 品 の 異 物 混 入	88	58	65
カ ビ の 発 生	3	3	5
食 品 の 取 扱 不 良	11	16	18
不 適 正 な 表 示	11	14	13
そ の 他	51	47	39
総 数	351	293	293

※各件の苦情内容に当てはまる項目が複数あれば複数計上している。

第2節 食肉衛生事業

1 食肉衛生対策

岡山県営と畜場(岡山市中区桜橋一丁目2-43)で処理される獣畜のと畜検査は、同と畜場内に設置した岡山市食肉衛生検査所において実施している。

安全で衛生的な食肉の流通に努めるため、と畜場法及び食品衛生法に基づき疾病の排除や残留動物医薬品等の検査を実施すると共に、枝肉の微生物汚染防止対策を指導した。さらに平成13年10月18日から、処理される牛等のTSEスクリーニング検査を実施している。

※と畜場法施行規則の一部改正により平成17年10月1日からめん羊、山羊の検査が追加されたためBSEスクリーニング検査も含めてTSEスクリーニング検査という名称を使用している。

(1) とちく場の概況

ア とちく検査頭数

	年度	牛	とく ※	馬	豚	めん羊	山羊	総数
頭数	28	5,345	15	0	60,365	0	3	65,728
	29	5,375	13	0	60,517	0	1	65,906
	30	5,351	10	0	61,235	0	0	66,596

※「とく」とは、牛の年齢1才未満のものをいう。(以下同様)

イ 試験室内検査実績件数

	年度	牛	とく	馬	豚	めん羊・山羊	その他	総数
微生物	28	288	0	0	344	0	160	792
	29	294	0	0	372	0	160	826
	30	270	0	0	342	0	160	772
理化学	28	18	0	0	2	0	0	20
	29	25	0	0	1	0	0	26
	30	8	0	0	1	0	0	9
病理	28	240	9	0	2	0	1	252
	29	248	13	0	33	0	0	294
	30	336	0	0	16	0	0	352
TSE検査 ※	28	1,080	0			0		1,080
	29	6	0			0		6
	30	0	0			0		0
総数	28	1,626	9	0	348	0	161	2,144
	29	573	13	0	406	0	160	1,152
	30	614	0	0	359	0	160	1,133

※厚生労働省関係牛海綿状脳症特別措置法施行規則の改正により、平成29年4月1日から、牛については24か月以上で神経症状および全身症状を呈するものを、めん羊・山羊については異常行動等の症状を呈するものについて検査をしている。

ウ とちく検査による行政処分頭数

	年 度	牛	とく	馬	豚	めん羊	山羊	総数
と 殺 禁 止	28	0	0	0	0	0	0	0
	29	0	0	0	0	0	0	0
	30	0	0	0	0	0	0	0
解 体 禁 止	28	0	0	0	0	0	0	0
	29	0	0	0	0	0	0	0
	30	0	0	0	0	0	0	0
全 部 廃 棄	28	124	1	0	13	0	0	138
	29	108	0	0	9	0	0	117
	30	97	1	0	9	0	0	107
一 部 廃 棄	28	3,378	12	0	23,967	0	3	27,360
	29	3,588	13	0	28,899	0	0	32,500
	30	3,576	9	0	29,936	0	0	33,521
総 数	28	3,502	13	0	23,980	0	0	27,495
	29	3,696	13	0	28,908	0	0	32,617
	30	3,673	10	0	29,945	0	0	33,628

(2) 食品衛生法に基づく検査

	年 度	牛	とく	馬	豚	めん羊	山羊	総数
検 査 頭 数	28	467	15	0	158	0	3	643
	29	492	10	0	115	0	1	618
	30	472	10	0	122	0	0	604
検 査 検 体 数	28	940	30	0	318	0	6	1,294
	29	984	20	0	230	0	2	1,236
	30	944	20	0	244	0	0	1,208
陰 性 検 体 数	28	938	30	0	317	0	6	1,291
	29	983	20	0	228	0	2	1,233
	30	944	20	0	244	0	0	1,208
陽 性 検 体 数	28	2	0	0	1	0	0	3
	29	1	0	0	2	0	0	3
	30	0	0	0	0	0	0	0

2 食鳥処理衛生対策

食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律に基づき、認定小規模食鳥処理場(年間処理羽数30万羽以下)及び届出食肉販売業について、立入検査を実施し、構造設備の改善及び食鳥肉の衛生的な取扱について指導した。

(1) 監視指導の状況

ア 監視指導実績

年度	施 設 数		監 視 延 べ 件 数	
	食鳥処理場	届出食肉販売業	食鳥処理場	届出食肉販売業
28	5(休止中4)	4	2	0
29	5(休止中4)	4	2	0
30	5(休止中4)	4	2	0

イ 検査結果

年度	実施施設数	検 査 件 数		
		拭き取り等	残留物質等	総 数
28	1	48	4	52
29	1	48	4	52
30	1	48	4	52

第3節 薬事衛生事業

医薬品等の安全確保や毒物劇物による保健衛生上の危害防止のため、市内の業者に対し監視指導を行った。

また、近年は国民の健康志向の高まりにより健康食品が大量に販売されているが、その中には医薬品成分を含有する無承認無許可医薬品もあり、健康被害の報告もあることから、健康食品の適切な販売方法や正しい知識の普及を図った。

1 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律 関係許可施設数及び監視状況

平成30年度

区 分	薬 局	店 舗 販 売 業	卸 売 販 売 業	特 例 販 売 業	薬 局 製 剤 製 造 販 売 業	薬 局 製 剤 製 造 業	販 売 業 ・ 貸 与 業	高 度 管 理 医 療 機 器 等	販 売 業 ・ 貸 与 業 (み な し 含 む 。)	管 理 医 療 機 器 (み な し 含 む 。)	総 数
施 設 数	347	173	135	2	43	43	623	4,383	4,383	5,749	
監 視 件 数	108	68	30	0	13	13	135	255	255	622	
新 規 許 可	13	10	3	0	1	1	41	156	156	225	
更 新 申 請	36	24	19	0	6	6	39	0	0	130	
許可証書換交付申請	9	0	1	0	0	0	9	0	0	19	
許可証再交付申請	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
医薬品製造承認申請	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
医薬品製造承認整理届	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	
取扱品目変更追加申請	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
変 更 届	1,030	668	70	0	7	7	312	52	52	2,146	
廃止・休止・再開届	18	19	8	0	3	3	49	39	39	139	
管理者兼務許可申請	21	0	25	0	0	0	18	0	0	64	
管理者兼務許可廃止届	6	0	30	0	0	0	3	0	0	39	
処 方 箋 数 届	150	0	0	0	0	0	0	0	0	150	
処 理 総 数	1,283	721	156	0	21	17	472	247	247	2,917	

2 毒物劇物取締法関係登録施設数及び監視状況

平成 30 年度

区 分	一般販売業	農業用品目 販売業	特定品目 販売業	特定毒物 使用者	要届出業務 上取扱者	特定毒物 研究者	総 数
施 設 数	423	50	19	17	15	15	539
監 視 件 数	63	12	3	2	0	1	81
新 規 登 録	18	2	1	0	0	1	22
更 新 申 請	48	11	2	0	0	0	61
毒物劇物取扱 責任者変更届	24	12	5	0	1	0	42
変 更 届	20	7	4	0	0	0	31
登 録 票 書 換 交 付 申 請	3	0	0	0	0	0	3
登録票再交付申請	0	0	0	0	0	0	0
廃 止 届	20	6	1	0	0	1	28
特定毒物所有品目 及び数量届	0	0	0	0	0	0	0
害虫防除実施届	0	0	0	0	0	0	0
毒物劇物取扱者 試験願書	69	42	7	0	0	0	118
毒物劇物取扱者 合格証再交付申請	4	1	0	0	0	0	5
処 理 総 数	206	81	20	0	1	2	310

3 苦情・相談処理件数

平成 30 年度

内 容	苦 情		相 談	
	事業者等	消費者	事業者等	消費者
許可・届出に関する事	0	0	28	0
施設設備・従事者に関する事	0	0	0	0
医薬品等に関する事	0	5	14	0
医療機器に関する事	1	1	8	0
無承認無許可医薬品等に関する事	0	0	0	0
毒物劇物に関する事	0	0	1	0
表示・広告に関する事	0	0	7	0
そ の 他	0	2	6	2
総 数	1	8	64	2

第4節 環境衛生事業

1 環境衛生営業関係業務

市民の日常生活に関係の深い環境衛生関係施設の整備改善と適正な衛生措置を確保し、利用者を保護するため、業種別に適切な監視指導を実施するとともに、営業者の自主管理を促した。

(1) 興行場施設数及び監視指導件数

平成30年度

常設の施設数			営業許可件数		廃止件数	監視件数	処分件数	
映画館	スポーツ施設	その他	常設	仮設			許可取消	営業停止
9	2	22	0	2	2	7	0	0

(2) 公衆浴場施設数及び監視指導件数

平成30年度

施設数								営業許可件数		廃止件数	監視件数	処分件数	
公営		私営						常設	仮設			許可取消	営業停止
一般公衆浴場	その他	一般公衆浴場	個室付浴場	ヘルスケアセンター	サウナ風呂	スポーツ施設	その他						
0	6	11	2	1	14	23	41	2	0	5	77	0	0

(3) 旅館業施設数及び監視指導件数

平成30年度

営業の種類				件営業許可数可	廃止件数	監視件数	処分件数	
旅館・ホテル営業		簡易宿所営業	下宿営業				許可取消	営業停止
施設数	客室数							
161	9,173	36	0	21	10	50	0	0

(4) 理容所施設数及び監視指導件数

平成30年度

施設数	確認件数	廃止件数	監視件数	業務停止等	閉鎖命令
636	17	31	253	0	0

(5) 美容所施設数及び監視指導件数

平成30年度

施設数	確認件数	廃止件数	監視件数	業務停止等	閉鎖命令
1,661	96	97	552	0	0

(6) クリーニング所施設数及び監視指導件数

平成 30 年度

施 設 数				確認件数	廃止件数	監視件数	業務停止等	閉鎖命令
一般	特定	取次	無店舗					
123	13	362	1	10	36	113	0	0

(7) 特定建築物施設数及び監視指導件数

平成 30 年度

施 設 数								届出 件数	廃止 件数	立入 件数
興行場	百貨店	店舗	事務所	学校	旅館	その他	総数			
10	16	74	117	27	26	21	291	4	3	38

(8) 温泉施設数及び監視指導件数

平成 30 年度

利用施設数	利用許可数	立入検査数
31	1	28

(9) 遊泳用プール施設数及び監視指導件数

平成 30 年度

施設数	届出数	立入検査数
30	0	33

(10) 公衆浴場対策

平成 30 年度

対象浴場数	補助事業実施件数	
	設備改善事業	経営安定化事業
7	4	7

(11) 住宅宿泊事業法に基づく施設数及び監視指導件数

健全な民泊サービスの普及を図るため、平成 29 年 6 月に住宅宿泊事業法（平成 29 年法律第 65 号）が成立し、平成 30 年 6 月 15 日に施行された。

平成 30 年度

届出住宅数	届出件数	事業廃止済件数	立入件数	業務停止命令	廃止命令
11	13	2	10	0	0

(12) 衛生教育実施状況

平成 30 年度

	興 行 場	公 衆 浴 場	旅 館	理 容 所	美 容 所	ク リ ー ニ ン グ 所	特 定 建 築 物	温 泉	そ の 他	総 数
実施回数	0	0	0	1	4	0	0	0	1	6
受講者数	0	0	0	152	376	0	0	0	39	567

(13) 苦情相談件数

平成 30 年度

興 行 場	公 衆 浴 場	旅 館	理 容 ・ 美 容 所	ク リ ー ニ ン グ 所	特 定 建 築 物	水 道	温 泉	遊 泳 用 プ ール	衛 生 害 虫	住 宅 宿 泊 事 業	そ の 他
0	3	5	24	0	0	5	0	1	270	5	3

(14) 環境衛生業務関連検査状況

平成 30 年度

項 目	検 体 数	延 検 査 項 目 数	細菌検査										理化学検査							
			一 般 細 菌	(基 準 違 反)	大 腸 菌 群	(陽 性)	大 腸 菌	(陽 性)	レ ジ オ ネ ラ 属 菌	(陽 性)	黄 色 ブ ド ウ 球 菌	(陽 性)	残 留 塩 素	p H	色 度	濁 度	過 マン ガン 酸	ホル ム アル デ ヒ ド	そ の 他	
プ ール	45	400	45	0			45	0					45	45	45	45	45		85	
ジ ャ グ ジ ー	17	167	17		17	0	1	0	17	3			17	17	16	16	16		33	
家 庭 用 品	40	40																	40	0
特 定 建 築 物	36	216																	0	216
公 衆 浴 場	220	2,039	220		220	3			220	24			219	219	179	181	182		399	
旅 館	31	270	29		29	0			29	1			29	29	21	21	21		62	
個 人 宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
お し ぼ り	2	10	2	0	2	0							2	0					4	
そ の 他	62	372	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	372	
合 計	453	3,514	313	0	268	3	46	0	266	28	2	0	310	310	261	263	264	40	1,171	

2 水道衛生に関する事業

高層建築物の増加に伴い、それに設置される受水槽も増加している今日、飲料水による事故発生を未然に防止するため、水質の安全性の確保を図り、施設の維持管理等について監視指導を実施した。

専用水道、簡易専用水道、小規模貯水槽水道

平成 30 年度

専用水道		簡易専用水道		小規模貯水槽水道	
施設数	立入検査数	施設数	立入検査数	施設数	立入検査数
15	13	1,205	83	4,566	1

3 家庭用品安全対策事業

各種家庭用品に使用されている化学物質による保健衛生上の被害の発生防止を図るため、平成 30 年度はホルムアルデヒドを対象に 40 検体を検査した。

家庭用品の試買試験検査実施状況

平成 30 年度

対象	用品名	検査項目	検体数	基準違反数
乳幼児	おしめ	ホルムアルデヒド	1	0
	おしめカバー		1	0
	よだれ掛け		2	0
	下着		6	0
	外衣		4	0
	中衣		2	0
	手袋		2	0
	くつ下		3	0
	帽子		2	0
	寝具		2	0
	寝衣		1	0
乳幼児以外	下着	7	0	
	たび	0	0	
	手袋	1	0	
	くつ下	4	0	
	寝衣	2	0	
合 計			40	0

4 雑草除去事業

あき地に雑草が繁茂することにより発生する害虫・火災・犯罪等を未然に防止するため、「あき地にかかる雑草の除去に関する条例」に基づき、当該あき地の所有者（管理者）に対し、雑草の除去を指導勧告し、市民の清潔かつ安全な環境衛生の確保に努力している。

対応状況

平成 30 年度

処理担当	相談件数	対応件数	対応面積(m ²)	処理件数	処理面積(m ²)
北区役所	5	5	3,528.000	5	3,528.00
北区役所 土木農林分室	10	10	5,365.000	10	5,365.00
中区役所	12	12	2,747.800	6	776.75
東区役所	16	16	9,715.750	8	4,123.76
南区役所	0	0	0.000	0	0.00
北区役所 御津支所	0	0	0.000	0	0.00
北区役所 建部支所	0	0	0.000	0	0.00
南区役所 灘崎支所	0	0	0.000	0	0.00
総 数	43	43	21,356.550	29	13,793.51

第5節 動物衛生事業

1 動物衛生事業

狂犬病等の動物由来感染症の発生及びまん延を予防し、また、動物による人の生命や財産の侵害を防止し、市民生活の安全と公衆衛生の向上を図るため、「狂犬病予防法」「動物の愛護及び管理に関する法律」等に基づき各種の事業を実施した。

また、動物の虐待防止、動物の適正な飼養、生命尊重等の動物愛護精神の普及啓発を行った。

(1) 狂犬病予防法に基づく犬の登録及び狂犬病予防注射済票の交付状況

区分	年度	26	27	28	29	30
新規登録数		2,473	2,584	2,559	2,348	2,419
注射済票交付数		22,189	22,786	23,071	22,931	23,097
登録総数		34,882	35,325	35,483	32,842	32,996

(2) 犬・ねこの引取等の状況

ア 犬の保護及び引取等の状況

区分	年度	26	27	28	29	30
野犬等※1保護(捕獲)		170	211	150	148	171
飼えなくなった犬の引取り(放棄)		9	15	1	22	0
飼い主への返還		42	39	26	32	22
譲渡	学術用	0	0	0	0	0
	個人	118	164	125	135	117
	計	118	164	125	135	117
処分頭数※2		16	16	9	3	7
うち収容中死亡した犬(再掲)			10	2	3	7

※ 1 野犬等：飼養されていない犬又はつながれず、若しくは収容されていない犬

※ 2 処分頭数には、収容中死亡した犬の数を含む。

※ 3 年度を超えて抑留する必要があるため、保護・引取頭数の合計件数と返還・譲渡頭数、処分頭数の合計は必ずしも一致しない。

イ 犬の譲渡

保健所が引き取りを行った犬の飼養を希望する市民に対し「犬の適正飼養管理講習会」を開講後、受講した者に譲渡した。

区分	年度	26	27	28	29	30
申込者数		21	14	27	8	4
講習会受講者数		23	14	15	5	4
譲渡頭数		118	164	125	135	117

ウ 飼えなくなったねこの引き取り及び保護の状況

区分	年度	26	27	28	29	30
飼えなくなったねこの引取	91日以上	51	0	1	0	0
	〃未満	17	8	0	0	0
保護ねこ数	91日以上	12	20	26	12	7
	〃未満	168	185	105	114	57
計		248	213	132	126	64
飼い主への返還		0	0	0	0	0
譲渡頭数		107	136	124	122	55
処分頭数※		141	77	8	4	9
うち収容中死亡したねこ(再掲)			15	5	4	9

※ 処分頭数には、収容中死亡したねこの数を含む。

エ ねこの譲渡

平成 25 年度から、ねこの譲渡を実施している。

区分	年度	26	27	28	29	30
譲渡申込件数		5	4	5	0	0
譲渡頭数		107	136	124	122	55

オ 負傷動物の収容

平成 30 年度

動物の種類	犬	ねこ	その他
収容数	2	9	0

(3) 犬・ねこに関する相談及び苦情等の状況

ア 犬に関する相談及び苦情の状況

区分	年度	26	27	28	29	30
保護(捕獲)		361	301	191	476	448
放し飼い		37	28	22	50	35
糞尿		34	9	18	7	13
鳴き声		42	32	20	23	33
放棄相談		62	56	27	56	52
その他		366	176	337	264	310
計		902	602	615	876	891

イ 飼い犬の逃亡等届出状況

年度	逃亡届出件数		保護(保健所以外)届出件数	
	逃亡届出	帰宅届出	保護の届出	飼い主への返還届出
29	165	95	147	97
30	151	92	133	98

ウ ねこに関する相談及び苦情の状況

区分	年度	26	27	28	29	30
捕獲について		176	133	115	194	195
糞尿		164	99	120	151	161
捨てねこの相談		116	34	87	158	139
放棄相談		58	21	32	69	57
その他		370	223	326	391	389
計		884	510	680	963	941

(4) 咬傷事故届出件数

区分	年度	26	27	28	29	30
飼い犬による件数		6	12	21	13	11
野犬等による件数		0	0	0	0	0
計		6	12	21	13	11

(5) 行政指導状況

区分	年度	26	27	28	29	30
告発		0	0	0	0	0
措置命令		0	0	0	0	0
指導票交付		2	0	0	0	0
始末書・顛末書		14	11	6	8	3
計		16	11	6	8	3

(6) 動物の愛護及び管理に関する法律に基づく特定動物(危険な動物)の飼養許可状況

29年度末飼養許可件数	30年度新規許可件数	30年度廃止件数	30年度末許可件数
39	9	14	34

(7) 動物の愛護及び管理に関する法律に基づく動物取扱業の登録状況

平成30年度

業種	販売	貸出し	保管	訓練	展示	競りあっせん	譲受飼養業
登録件数	167	8	164	21	21	0	2

2 化製場等に関する事業

「化製場等に関する法律」に基づき、化製場、死亡獣畜取扱場の許可等の業務を実施している。

化製場等の施設数

平成 30 年度

区 分	化製場	死亡獣畜取扱場	魚介類・鳥類等準用施設	家畜及び家きん舎
施 設 数	0	0	0	9

3 地域猫活動支援事業

指定活動団体が行う地域猫活動に対し、その活動が継続的に行われるよう不妊去勢手術費用の一部助成などの支援を行っている。

地域猫活動とは、所有者のいない猫を原因とする生活環境の悪化を地域の問題とし、地域ぐるみで理解し、これら猫の不妊去勢手術を施し、給餌、給水、排泄物の処理や周辺の清掃等の管理を継続的に行い、徐々に被害を減らすための活動をいう。

区分 \ 年度	27	28	29	30
年度末地域猫活動指定団体数	17	26	41	57
助成金交付申請匹数	111	103	145	188
助成金交付決定匹数	104	103	145	151
交付匹数※	75	88	99	151

※ 手術完了後、助成金を交付した匹数

第7章 検査事業

- 1 食品衛生関係検査
- 2 環境衛生関係検査
- 3 性感染症関係検査
- 4 感染症関係検査
- 5 監視業務に従事する保健所職員の
便検査
- 6 精度管理
- 7 調査研究に係る検査

試験検査の概要

平成30年度に行った試験検査の概要は次のとおりである。

1	食品衛生関係検査		
(1)	食品衛生監視指導計画に基づく検査	922	検体
	内訳 保健所衛生検査センター検査分	760	検体
	保健所衛生課食品衛生係 中央卸売市場駐在所検査分	162	検体
(2)	食中毒に伴う検査及び食品の苦情に係る検査	212	検体
2	環境衛生関係検査		
(1)	プール水・浴槽水の水質検査及びおしぼりの検査	313	検体
(2)	家庭用品の検査	40	検体
3	性感染症関係検査	501	検体
4	感染症関係検査	122	検体
5	監視業務に従事する保健所職員の便検査	134	検体
6	精度管理	300	検体
7	調査研究に係る検査	281	検体

1 食品衛生関係検査

(1) 食品衛生監視指導計画に基づく検査

食品の収去検査は、その目的・根拠法令等により、次の二つに大別される。

○ 規格基準が適用される食品の検査

食品衛生法に基づく、食品及び添加物等に係る規格基準が適用される食品について、微生物検査及び理化学検査を実施している。

なお、規格基準不適合となった食品に対しては、なんらかの行政処分が伴うことがある。

○ 衛生基準等が適用される食品の検査

規格基準は適用されないが、次の要綱・規範に基づく衛生基準等が適用される食品について、微生物検査及び理化学検査を実施している。

なお、衛生基準等に不適合となった食品は、行政指導の対象となる。

- かきの処理等に関する指導要綱
- 弁当及びそうざいの衛生規範
- 洋生菓子の衛生規範
- 生めん類の衛生規範

1 食品衛生関係検査

(1) 食品衛生監視指導計画に基づく検査

分類	検査項目	検体数	検査項目数	微生物検査														
				細菌数	大腸菌群(数)	大腸菌群最確数	E・coli	E・coli最確数	サルモネラ属菌	黄色ブドウ球菌	腸管出血性大腸菌	乳酸菌数	腸炎ビブリオ	腸炎ビブリオ最確数	クロストリジウム属菌	セレウス菌	ノロウイルス	恒温・細菌試験
魚介類	センター	29	45	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	10	0
	市場	73	365	73	53	0	53	20	0	53	0	0	0	73	0	0	0	0
冷凍食品	無加熱摂取	センター	5	10	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		市場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	凍結前加熱加熱後摂取	センター	5	10	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		市場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	凍結未加熱加熱後摂取	センター	10	20	10	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		市場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生食用冷凍鮮魚介類	センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
魚介類加工品	センター	36	341	36	35	0	26	0	0	35	0	0	1	0	0	4	0	
	市場	40	200	40	40	0	40	0	0	40	0	0	8	32	0	0	0	
肉・卵類加工品	センター	70	1,352	53	53	0	62	0	9	62	0	0	0	0	0	0	0	
	市場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
乳製品	センター	31	727	19	31	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	
	市場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
乳類加工品	センター	4	82	1	4	0	1	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	
	市場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
乳	センター	13	994	13	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
アイスクリーム類・氷菓	センター	15	60	15	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
穀類及びその加工品	センター	57	252	57	57	0	57	0	0	57	0	0	0	0	0	2	0	
	市場	6	30	6	6	0	6	0	0	6	0	0	6	0	0	0	0	
野菜果物及びその加工品	センター	251	40,390	158	158	0	153	0	0	157	0	0	0	0	0	12	0	
	市場	11	45	11	11	0	11	0	0	11	0	0	1	0	0	0	0	
菓子類	センター	31	410	16	16	0	16	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	
	市場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
清涼飲料水	センター	12	336	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
酒精飲料	センター	16	384	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
氷雪	センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
水	センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
かん詰・びん詰食品	センター	5	115	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他の食品	センター	7	279	2	2	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	
	市場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
添加物	センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
器具及び容器	センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
おもちゃ	センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ふきとり	センター	163	634	163	163	0	159	0	0	149	0	0	0	0	0	0	0	
	市場	20	100	20	20	0	20	0	0	20	0	0	20	0	0	0	0	
いけす海水	センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市場	12	48	0	12	0	12	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	
その他	センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	センター	760	46,711	560	569	0	486	0	9	479	0	15	8	0	0	18	10	
	市場	162	788	150	142	0	142	20	0	130	0	0	35	117	0	0	0	
	全体	922	47,229	710	711	0	628	20	9	609	0	15	43	117	0	18	10	

*1 安息香酸, サリチル酸, ソルビン酸, デヒドロ酢酸, パラオキシ安息香酸, プロピオン酸

*2 アスパルテーム, アセスルファムカリウム, サイクラミン酸, サッカリンナトリウム, ズルチン, スクラロース

*3 タール系色素(12種)

理化学検査

保存料 *1	甘味料 *2	着色料 *3	発色剤	二酸化硫黄	酸化防止剤	防かび剤	残留農薬 *4	飼料添加物 動物用医薬品 *5	重金属 *6	水分活性	TF生成量	塩分濃度	酸化・過酸化価	品質保持剤	殺菌剤	シアン化合物	容器包装	乳等規格等 *7	ヒスタミン *8
0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	20	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50	33	120	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
45	54	108	9	0	0	0	0	897	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
155	186	312	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	18	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	920	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	18	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
55	54	132	0	1	0	0	39,510	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75	90	180	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60	72	144	0	0	0	0	0	0	48	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80	96	192	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	30	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	18	36	0	0	0	0	0	202	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
575	651	1,320	9	19	0	0	39,510	2,019	60	0	0	0	0	4	18	0	0	93	9
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	32	0	0	0	0	0	0	0
575	651	1,320	9	19	0	0	39,510	2,019	60	0	20	32	0	4	18	0	0	93	9

*4、*5、*7は次ページ以降に詳細
 *6 カドミウム、スズ、鉛、ヒ素、水銀
 *8ヒスタミン、カダベリン、チラミン

残留農薬検査(「(1)食品衛生監視指導計画に基づく検査」の中に含まれる。)

検査項目:464項目

種別	28年度	29年度	30年度	
	検体数*	検体数*	検体数	検査項目数
野菜	72	72	61	27,960
果物	33	34	25	11,550
その他	0	0	0	0
合計	105	106	86	39,510

30年度はすべて衛生検査センターで実施 *市場駐在所の検査数を含む

検出農薬一覧

No.	食品名	検査項目	検査結果(ppm)	基準値
1	いちご	アセタミプリド	0.06	3ppm以下
		イプロジオン	0.32	20ppm以下
2	いちご	フルジオキソニル	0.43	5ppm以下
		フルベンジアミド	0.02	2ppm以下
		フロニカミド	0.03	2ppm以下
		メパニピリム	0.03	10ppm以下
3	いちご	テブフェンピラド	0.07	1ppm以下
		ヘキシチアゾクス	0.03	6ppm以下
		ペンチオピラド	0.05	3ppm以下
		メパニピリム	0.26	10ppm以下
4	かき	ジフェノコナゾール	0.03	0.7ppm以下
		テブコナゾール	0.02	1ppm以下
5	キャベツ	フルベンジアミド	0.01	4ppm以下
6	きょうな	ジノテフラン	0.12	10ppm以下
		チアメキサム	0.01	3ppm以下
7	こまつな	ジノテフラン	0.06	10ppm以下
		シペルメトリン	0.08	5.0ppm以下
8	こまつな	ジノテフラン	0.02	10ppm以下
9	すもも	アゾキシストロビン	0.08	2ppm以下
		ジノテフラン	0.07	0.7ppm以下
		ボスカリド	0.03	10ppm以下
10	セロリ	クロルフェナピル	0.03	3ppm以下
11	とうがん	アセタミプリド	0.01	2ppm以下
12	トマト	アセタミプリド	0.58	2ppm以下
		シアゾファミド	0.02	2ppm以下
		トリフルミゾール	0.02	2ppm以下
		ペンチオピラド	0.51	3ppm以下
		ボスカリド	0.01	5ppm以下
13	トマト	アセタミプリド	0.01	2ppm以下
14	なす	クロルフェナピル	0.01	1ppm以下
15	なす	4-クロルフェノキシ酢酸	0.05	0.1ppm以下
16	ねぎ	フルトラニル	0.04	1ppm以下
17	はくさい	ボスカリド	0.01	40ppm以下
18	はくさい	フルベンジアミド	0.02	5ppm以下
		ボスカリド	0.02	40ppm以下
19	はくさい	ジノテフラン	0.01	6ppm以下
		ボスカリド	0.02	40ppm以下
20	はくさい	メソミル	0.01	2ppm以下
21	ぶどう	イミダクロプリド	0.03	3ppm以下
		テブコナゾール	0.02	10ppm以下
		ペンチオピラド	0.03	10ppm以下
22	ぶどう	テブコナゾール	0.11	10ppm以下
		フルベンジアミド	0.1	2ppm以下
23	ぶどう	シアゾファミド	0.01	10ppm以下
		ジノテフラン	0.04	15ppm以下
		テブコナゾール	0.02	10ppm以下
		マンジプロパミド	0.05	3ppm以下

24	ぶどう	クロルフェナピル	0.02	5ppm以下
		シアゾファミド	0.02	10ppm以下
		テブコナゾール	0.16	10ppm以下
		ベンチオピラド	0.02	10ppm以下
		ボスカリド	0.01	10ppm以下
		マンジプロバミド	0.12	3ppm以下
25	ぶどう	フルベンジアミド	0.04	2ppm以下
26	ぶどう	ボスカリド	0.1	10ppm以下
27	ぶどう	ボスカリド	0.2	10ppm以下
28	ほうれんそう	アセタミプリド	0.04	3ppm以下
		フルフェノクスロン	0.09	10ppm以下
29	みかん	ジノテフラン	0.01	2ppm以下
30	その他のかんきつ類果実	トルフェンピラド	0.19	3ppm以下
		メチダチオン	0.13	5ppm以下
31	その他のかんきつ類果実	クレソキシムメチル	0.29	10ppm以下
		ジノテフラン	0.02	10ppm以下
32	もも	フルベンジアミド	0.03	0.05ppm以下
33	もも	アセタミプリド	0.02	2ppm以下
34	りんご	アセタミプリド	0.02	2ppm以下
		トリフロキシストロビン	0.02	3ppm以下
35	りんご	ボスカリド	0.03	2ppm以下
36	レタス	アセタミプリド	0.02	10ppm以下
		フルベンジアミド	0.01	15ppm以下
37	レタス	チアメキサム	0.02	3ppm以下
38	西洋なし	テブコナゾール	0.02	5ppm以下
		ボスカリド	0.02	3ppm以下
39	日本なし	クレソキシムメチル	0.01	5ppm以下
40	日本なし	シアノホス	0.02	0.2ppm以下
41	未成熟えんどう	アセタミプリド	0.02	2ppm以下
		トリフルミゾール	0.02	5ppm以下

残留動物用医薬品検査（「(1)食品衛生監視指導計画に基づく検査」に含まれる。）

検査項目：筋肉(114項目) 鶏卵(109項目) はちみつ(101項目) 乳(115項目)

食品名	28年度	29年度	30年度	
	検体数	検体数	検体数	検査項目数
牛肉	1	1	2	228
豚肉	1	1	1	114
鶏肉	2	2	2	228
鶏卵	4	9	3	327
乳	0	0	8	920
はちみつ	8	3	2	202
合計	16	16	18	2,019

* 平成30年度は残留動物用医薬品検出なし。

乳及び乳製品の成分規格検査（「(1)食品衛生監視指導計画に基づく検査」に含まれる。）

乳及び乳製品について、「乳及び乳製品の成分規格等に関する省令」に基づく成分規格に係る理化学検査及び微生物検査を実施した。

区分	検査項目	検体数	28年度	29年度	30年度	牛乳	無・低脂肪牛乳	成分調整牛乳	乳類加工品	乳製品	アイスクリーム類
			47	24	63	11		2	4	31	15
理化学検査	比重		14		11	11					
	酸度		18		13	11		2			
	乳脂肪分		29	8	26	11					15
	無脂乳固形分		32	16	28	11		2	3	12	
	乳固形分		15	8	15						15
	水分										
	糖分										
微生物検査	細菌数(生菌数)		33	8	48	11		2	1	19	15
	大腸菌群		47	24	63	11		2	4	31	15
	乳酸菌数		14	16	15				3	12	
	リステリア菌*										
	サルモネラ属菌*										
	セレウス菌*										
	黄色ブドウ球菌*										
	腸管出血性大腸菌O157*										
計		202	80	219	66	0	8	11	74	60	

*印は規格基準外の検査項目

(2) 食中毒に伴う検査及び食品の苦情に係る検査

食中毒及び食品苦情発生時に、便、食品等について理化学検査及び微生物検査を実施した。

検体数	種別	便	吐物	食品	ふき取り	水	その他	計
	検査項目	28年度	89 (56)			57 (2)		
	29年度	38 (13)	2 (1)	20 (8)	41 (1)		3 (2)	104 (25)
	30年度	110 (39)		34 (9)	68 (2)			212 (50)
一般細菌数								
大腸菌群								
E.coli								
赤痢菌		76 (5)		34	35			145 (5)
サルモネラ属菌		46		34	35			115
腸炎ビブリオ		46		34	35			115
その他のビブリオ属								
黄色ブドウ球菌		46 (6)		34 (9)	35			115 (15)
病原大腸菌		46		34	35			115
腸管出血性大腸菌		1 (1)						1 (1)
ウェルシュ菌		46 (1)		34	35			115 (1)
エルシニア								
セレウス菌		46		34 (3)	35 (2)			115 (5)
カンピロバクター		46 (6)		34	35			115 (6)
エロモナス		5						5
プレシオモナス		5						5
ボツリヌス菌								
真菌								
低温細菌								
ノロウイルス		68 (21)			33			101 (21)
計		477 (40)		272 (12)	313 (2)			1,062 (54)

()内は検出数

2 環境衛生関係検査

(1) プール水・浴槽水の水質検査及びおしぼりの検査

遊泳用プール水については、「岡山市遊泳用プール取扱要綱」、公衆浴場及び社会福祉施設の循環式浴槽水については、「公衆浴場における水質等に関する基準」に基づく理化学検査及び微生物検査、おしぼりについては「おしぼりの衛生的処理等に関する指導基準」に基づく官能検査及び微生物検査を実施した。

検査項目		年度	28年度	29年度	30年度
		検体数	264	479	313
官能検査	変色	4	2	2	
	異臭	4	2	2	
理化学検査	色度	0	0	0	
	濁度	0	0	0	
	pH値	0	0	0	
	有機物等	2	3	3	
微生物検査	細菌数(生菌数)	264	304	313	
	大腸菌群	219 (8)	250	268 (3)	
	大腸菌	46	46	46	
	黄色ブドウ球菌	4	2	2	
	レジオネラ属菌	215 (20)	431 (95)	266 (28)	
計		758 (28)	1,040 (95)	902 (31)	

()内は陽性数

(2) 家庭用品の検査

「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」に基づく理化学検査を実施した。

検査項目		年度	28年度	29年度	30年度
		検体数	40	40	40
肌着・寝具類のホルムアルデヒド*		40	40	40	
計		40	40	40	

3 性感染症関係検査

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」及び「岡山市性感染症ストップ作戦事業要綱」に基づく検査を実施した。

検査項目		年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		検体数	378	431	501
エイズ検査		378	431	501	
梅毒検査		378	430	500	
計		756	861	1001	

4 感染症関係検査

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づく微生物検査を実施した。

検査項目	種別		患者	接触者	その他	計
	検体数	28年度	67 (3)	28 (4)		95 (7)
		29年度	32 (7)	39 (3)	2 (2)	73 (12)
		30年度	50 (17)	50 (9)	20 (6)	120 (32)
赤痢菌		20 (5)	9 (2)		29 (7)	
コレラ菌						
チフス菌						
腸管出血性大腸菌 O157		18 (5)	29 (2)	2 (2)	49 (9)	
腸管出血性大腸菌 O26		10 (5)	12 (5)		22 (10)	
腸管出血性大腸菌 O111						
腸管出血性大腸菌 その他血清型*		2 (2)			2 (2)	
カルバペネム耐性菌**				18 (4)	18 (4)	
その他						
計		50 (17)	50 (9)	20 (6)	120 (32)	

() 内は検出数 *血清型 O128

その他は、菌株の確認検査

**主要なカルバペネマーゼ遺伝子検査(検出はすべてIMP型)

5 監視業務に従事する保健所職員の便検査

「食品衛生法」に基づく監視指導を行う保健所職員に対し微生物検査を実施した。

検査項目	種別		衛生課
	検体数	28年度	51 (0)
		29年度	38 (0)
		30年度	134 (0)
赤痢菌		134 (0)	
サルモネラ属菌		134 (0)	
腸管出血性大腸菌		134 (0)	
計		402 (0)	

() 内は検出数

6 精度管理

検査精度の向上のため、衛生検査センター独自で内部精度管理を実施した。

項目	検査機関名	衛生検査センター職員 (人数)	検体数
細菌数の検査手技に係る精度確認		3	300

7 調査研究に係る検査

(1) レジオネラ属菌検査の検討

レジオネラ属菌通常検査において、選択性の異なる3種類の培地を使用し比較を行った。

レジオネラ属菌検査数	266
------------	-----

(2) 食中毒菌検査法の検討(病原大腸菌)

①病原大腸菌の病原因子等の遺伝子の検査法で、イムノクロマトで検出する方法の採用の検討を行った。

対象遺伝子種類	7
検討数	8

②病原大腸菌H抗原の検査法で遺伝子増幅して検出する方法の採用の検討を行った。

対象遺伝子種類	6
検討数	7

第8章 調査研究等

第 1 節 調査研究

第 2 節 その他

第1節 調査研究

1 平成30年度 調査研究一覧

テ ー マ	担 当
地域保健総合推進事業 広域災害時における健康危機管理支援活動の体制整備と実践力養成事業	研究協力者 松岡宏明
平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 障害者対策総合研究事業（障害者政策総合研究事業（精神障害分野）） 精神障害者の地域生活支援を推進する政策研究措置入院となった精神障害者の治療転帰に関する前向きコ ホート研究：措置入院中の精神障害者の社会機能に関する検討	研究協力者 太田順一郎
平成30年度厚生労働科学研究 「精神障害者の地域生活支援を推進する政策研究」 分担研究「精神障害者の権利擁護に関する研究」	研究協力者 太田順一郎
平成30年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)「Multistate Outbreakの可視化疫学解析システム の開発」に関する研究	衛生課食品衛生係 保健管理課
平成30年度厚生労働科学研究費補助金(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業) 食品由来感染症の病原体の解析手法及び共有化システムの構築のための研究 中四国ブロックにおける食品由来感染症の病原体の解析手法及び共有化システムの構築のための研究	研究協力者 檀上博子

2 平成30年度 事業のまとめ作成一覧

冊子名	課 名
平成30年度栄養教室のまとめ	健康づくり課
健康市民おかやま21(第2次) 中間評価報告と今後の方向性 冊子	健康づくり課
健康市民おかやま21(第2次) 中間評価報告と今後の方向性 概要版	健康づくり課
平成30年度岡山市中央卸売市場駐在所業務概要 (電子版)	衛生課食品衛生係
平成29年度岡山市食肉衛生検査所事業概要	食肉衛生検査所
平成29年度 こころの健康早期支援事業報告書	こころの健康センター
岡山市歯科保健基本計画 中間評価報告と今後の方向性 冊子	健康づくり課
岡山市歯科保健基本計画 中間評価報告と今後の方向性 概要版	健康づくり課
岡山市育児環境調査(平成30年度)	健康づくり課

3 平成30年度 冊子・パンフレット作成一覧

事 業 名	パンフレット名
精神保健事業	こころの健康マップ
難病対策事業	なんびょうガイドブック
母子保健事業	おやこクラブ普及啓発パンフレット

母子保健事業	いいお産の日in岡山市 2018
母子保健事業	子育てのしおり
母子保健事業	妊婦・パートナー歯科健康診査(リーフレット、チラシ)
母子保健事業	虫歯から歯を守りましょう
母子保健事業	思春期/エイズ・STD ホットライン PR カード
母子保健事業	誤飲チェックシート
健康増進事業	かるうま減塩チラシ
健康増進事業	レシピ集「作って食べよう」
健康増進事業	レシピ集「元気がでるレシピ」
健康増進事業	健康寿命延伸都市フェスタ2018 健康寿命延伸都市協議会加盟自治体事例報告資料
健康増進事業	健康市民おかやま21推進宣言PRチラシ
健康増進事業	健康市民おかやま21推進宣言登録書・登録シール
健康増進事業	「乳がん自己チェックをしましょう」PRポスター
健康増進事業	「けんしんガイド」「保健所からのお知らせ」全戸配布用冊子
健康増進事業	「乳がん・子宮がん検診を受けましょう」「肺がん検診を受けましょう」回覧用チラシ
健康増進事業	乳がん検診のすすめ(ピンクリボン岡山・ソロプチミスト岡山・岡山市)
健康増進事業	健康手帳、がん検診手帳
健康増進事業	岡山市の健康診査のお知らせPR用ポスター
がん対策事業	受けなきゃ損！がん検診
がん対策事業	禁煙することが必要です
組織育成事業	栄養委員活動普及リーフレット
組織育成事業	愛育のしおり
組織育成事業	栄養教室に参加しませんか
組織育成事業	平成 30 年度栄養教室手引き・献立集
こころの健康センター事業	大切な人の命を守るために～気づき・つながる～
こころの健康センター事業	岡山市こころの健康センターだより 第 10 号
こころの健康センター事業	お酒の飲み方セルフチェックポスター(増刷)
こころの健康センター事業	あなたの職場で「おいしくお酒を飲むための教室」開催しませんか？(増刷)
こころの健康センター事業	飲みすぎじゃない？と言われて腹が立つ！それは危険なサインかもしれない
こころの健康センター事業	お酒の量が増えてきた！それは危険なサインかもしれない
こころの健康センター事業	やめたくてもやめれない それって依存症かも？
こころの健康センター事業	お酒の飲み方セルフチェック(ポスター)
こころの健康センター事業	アルコール相談カード(2 種)
こころの健康センター事業	岡山市自殺対策推進センター広報用パンフレット
環境衛生事業	貯水槽の維持管理パンフレット
環境衛生事業	衛生害虫パンフレット
食品衛生事業	カンピロバクターによる食中毒を予防しよう

食品衛生事業	手洗い、6つのポイントチラシ
食品衛生事業	アニサキス、ヒスタミン チラシ
食品衛生事業	子どもが食中毒にならないために知っておきたいポイント
食品衛生事業	食品表示の切替えはできていますか？
食品衛生事業	食品表示基準対応 早わかり食品表示 Q&A
動物衛生事業	地域猫活動支援事業申請の手引き
動物衛生事業	岡山市地域猫活動支援事業

4 平成30年度 保健所主催の研修一覧

年月日	研修名	参加者(団体)	参加人数
H30.6.25	「インテーク、面接、相談技法」演習	保健所職員	12人
H30.6.26	足圧バランス計操作研修会	保健所職員、運動指導員他	16人
H30.7.18	OKAYAMA！市民体操実践指導者講習会	保健所職員、健康市民おかやま21推進員他	42人
H30.8.6	精神専門研修「精神疾患の基礎知識」	保健所職員	16人
H30.7.19	特定保健指導実践者研修会	保健所職員、市内医療機関保健指導実践者	52人
H30.10.2	給食施設従事者研修会	給食施設の調理従事者	157人
H30.10.5	母子保健専門研修「子育て家族支援のための対話と信頼～ネウボラからの示唆～」	保健所職員・訪問指導員	28人
H30.10.13	健康寿命延伸都市フェスタ2018	健康市民おかやま21推進委員、保健所職員他	240人
H30.10.22	健康増進専門研修会	保健所職員	10人
H31.1.11	HACCP 研修	食品関連事業者	39人
H31.1.23	HACCP 研修	食品関連事業者	60人
H31.1.23	事例を通して考える～福祉と医療の連携について～	就労移行・計画相談支援事業所、医療機関他	27人
H31.1.29	住居衛生講習会「住まいと健康」	行政関係者	39人
H31.1.15	健康運動従事者研修会	保健所職員、健康市民おかやま21推進員他	17人
H31.1.21	難病専門研修「訪問看護の役割 訪問看護制度」	保健所職員、訪問指導員他	22人
H31.2.5	特定給食施設栄養管理研修会	特定給食施設の栄養管理者他	83人
H31.2.27	母子保健専門研修「NICU を退院した児の家庭訪問時の観察のポイントと保健指導について～母親の育児を応援する保健師になるために～」	保健所職員・訪問指導員・健診従事看護師	32人
H31.3.5	特定給食施設管理者講習会	特定給食施設の栄養管理者	43人

5 平成30年度 学会発表一覧

学 会 名	年月日	開催地	発表者	演 題
岡山県獣医公衆衛生学会	H30. 8. 3	岡山市	北川	犬の狂犬病予防集合注射の見直しについて
			浅利	牛の好酸球性心筋炎について
			大谷	豚における薬剤耐性βラクタマーゼ産生大腸菌の保有実態調査
			藤井	ペプトン不含最少培地による残留薬剤簡易検査法の検討
平成30年度中国地区食品衛生監視員研究発表会	H30. 8. 24 (中止、審査のみ)	倉敷市	船橋	中学生職場体験におけるリスクコミュニケーション
			武本	加熱不十分な鶏肉料理のリスクに係る啓発について
第40回日本アルコール関連問題学会	H30. 9. 8	京都市	太田	岡山市こころの健康センターにおける依存症問題への取り組みーGP ネットと職域への出前講座ー
第54回全国精神保健福祉センター研究協議会	H30. 10. 24	福島市	木本	岡山市こころの健康センターの地域移行支援の取組ーH29年度精神科病院入院患者実態調査の活用についてー
第38回日本社会精神医学会	H31. 2. 28	東京都	太田	岡山市こころの健康センターにおける地域移行支援の取り組み
第29回近畿・中国・四国口腔衛生学会総会	H30. 9. 23	松山市	河本	岡山市歯科保健基本計画と中間評価
日本獣医公衆衛生学会（中国）	H30. 9. 29 ～30	米子市	北川	犬の狂犬病予防集合注射の見直しについて
			浅利	牛の好酸球性心筋炎について
			藤井	ペプトン不含最少培地による残留薬剤簡易検査法の検討
第77回日本公衆衛生学会	H30. 10. 24 ～26	郡山市	兒玉	岡山市において急増した梅毒の感染経路の検討 ～届出受理時の疫学調査結果から～
			大塚	町内会がヘルスプロモーションに関わるに至るプロセスへの保健師の関与
第64回中国地区公衆衛生学会	H30. 8. 21	広島市	福井	大学との連携による SNS を活用した情報発信～成果と課題～
第25回岡山県保健福祉学会	H31. 1. 21	岡山市	村上	おやこクラブと愛育委員会・栄養改善協議会の交流会支援を考える～組織育成についての検討報告～
第49回日本看護学会ヘルスプロモーション学術集会	H30. 9. 20 ～21	岡山市	出戸	A市生活支援体制整備事業を通じた地域包括ケアシステムの構築～保健分野からの横串連携による地域づくり支援ネットワークの発足～
平成30年度保健所検査業務研究会発表会	H31. 2. 8	岡山	直原	ソルビン酸等混合標準品の保存について

第2節 そ の 他

1 保健所の業務案内

保健事業の普及啓発を図るため、保健所の業務案内や感染症・食中毒予防への喚起などを内容とした冊子「保健所案内」を作成している。また、結核肺がん集団検診日程・健康診査医療機関一覧・定期の予防接種医療機関一覧等を愛育委員を通じて全戸配付する。

2 レディオ MOMO

一般生活に関する保健情報や保健所等業務について紹介し、広く市民への健康に関する意識の普及啓発に努める。

平成30年度レディオ MOMO 放送実績

放送日	テ ー マ	放送日	テ ー マ
4月3日	保健所の活用方法について	10月2日	「薬と健康の週間」について
4月10日	岡山市の歯科の状況について	10月9日	「ふれあいまつり」について
4月17日	世界自閉症啓発デーについて	10月16日	「世界エイズデーin岡山」について
5月1日	マダニによる感染症などについて	10月30日	在宅医療・介護の出勤講座と市民公開講座について
5月8日	自然毒による食中毒にご注意を	11月6日	西地域愛育委員連絡会の活動について
5月15日	犬猫の譲渡会について	11月13日	岡山市いいお産サポート事業「いいお産の日 in 岡山市2019」について
5月29日	岡山市のがん検診のお知らせ	11月20日	さわやか健康ひろばについて
6月5日	地域猫活動支援事業について	12月4日	受動喫煙対策のための新しいルール
6月12日	自立支援医療保費(精神通院医療)の受給者証の審査・発行業務について	12月11日	こんにちは赤ちゃん事業について
6月19日	感染症について	12月18日	冬の食中毒予防について
7月3日	西大寺ふれあいセンターまつり	1月1日	薬物乱用防止の危険性について
7月11日	プールの衛生について	1月8日	岡山市依存症相談支援センターについて
7月17日	夏の食中毒予防について	1月15日	小児救急医療受診の適正化について
7月31日	健康診査のお知らせ	1月29日	賢い患者になるために
8月7日	「認知症施策の推進」について	2月5日	野犬対策について
8月14日	「アルコール関連問題」について	2月12日	ともに育むネットワークパネル展について
8月21日	子どもの歯の相談とミニ講話の紹介	2月19日	子どもの予防接種とワクチン
9月4日	動物の適正な飼養について(動物愛護週間に向けて)	3月5日	「うつ病」について
9月11日	結核について	3月12日	犬の登録と狂犬病予防注射について
9月18日	認知症への理解を深める普及啓発のイベントについて	3月19日	健全な民泊の営業について

第9章 各種協議会等

1 岡山市保健所運営委員会

地域保健法の規定及び岡山市保健所及び保健センター条例の規定に基づき、保健所の運営や管轄の公衆衛生に関する専門的事項について協議する機関として、関係団体、行政機関、住民組織の代表等により構成している。

- ・設置年月日 平成12年4月1日
- ・委員数 19人（平成31年4月1日現在）
- ・開催状況 1回（平成30年度）

2 岡山市予防接種健康被害調査委員会

予防接種法に基づき実施した予防接種により発生したと推測される健康被害について調査、検討し、適正な処理を図るため、専門知識を有する医師等により構成している。

- ・設置年月日 平成7年4月1日
- ・委員数 10人
- ・開催状況 0回（平成30年度）

3 小児慢性特定疾病審査会

小児慢性特定疾病における認定業務を正確かつ円滑に推進するため、専門知識を有する医師により構成している。

- ・設置年月日 平成27年1月1日
- ・委員数 9人（平成31年4月1日現在）
- ・開催状況 14回（平成30年度）

4 岡山市感染症診査協議会

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、感染症指定医療機関に入院している患者の本入院又は入院の延長に関する事項等を診査するため、感染症指定医療機関の医師、感染症の患者の医療に関し学識経験を有する者、法律に関し学識経験を有する者並びに医療以外の学識経験を有する者により構成している。

- ・設置年月日 平成11年4月12日
- ・委員数 感染症部会 5人
結核部会 7人
- ・開催状況 感染症部会 1回（平成30年度）
結核部会 24回（平成30年度）

5 岡山市献血推進協議会

献血事業の円滑な推進を図るため、住民組織、職域、高等学校、関係機関等の代表により事業推進方策等を協議する。

- ・設置年月日 平成 21 年 9 月 1 日
- ・委員数 16 人（定員 25 人以内）
- ・開催状況 0 回（平成 29 年度）

6 岡山市休日夜間診療運営協議会

岡山市休日夜間急患診療所の運営状況に係る問題を中心に、休日及び夜間の急患診療体制の整備や普及啓発に関することを市医師会、市薬剤師会とともに協議する。

- ・設置年月日 昭和 53 年 5 月 26 日
- ・委員数 10 人（平成 30 年 4 月 1 日現在、定員 15 人以内）
- ・開催状況 0 回（平成 29 年度）

7 岡山市精神保健福祉審議会

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和 25 年法律第 123 号）第 9 条第 1 項の規定に基づき、市条例で設置する。精神保健及び精神障害者の福祉に関する事項を調査審議し、意見具申する。精神保健又は精神障害者の福祉に関し学識経験のある者、精神障害者の医療に関する事業に従事する者及び精神障害者の社会復帰，自立及び社会経済活動参加の促進を図るための事業に従事する者等により構成されている。

- ・設置年月日 平成 22 年 4 月 1 日
- ・委員数 12 人（平成 30 年 4 月 1 日現在、定員 15 人以内）
- ・開催状況 1 回（平成 30 年度）

8 岡山市精神医療審査会

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第 12 条の規定に基づき、精神科病院への入院の必要性・処遇の妥当性等について審査を行う機関として、医療委員・法律家委員・有識者委員で構成している。

- ・設置年月日 平成 21 年 4 月 1 日
- ・委員数 35 人（平成 31 年 4 月 1 日現在）
- ・開催状況 31 回（平成 30 年度）

9 岡山市自立支援医療費（精神通院医療）及び精神障害者保健福祉手帳審査委員会

岡山市こころの健康センター条例の規定に基づき、精神障害者保健福祉手帳の交付の判定及び自立支援医療費（精神通院医療）の支給認定審査を行う機関として、精神科医師で構成している。

- ・設置年月日 平成 21 年 4 月 1 日
- ・委員数 5 人（平成 31 年 4 月 1 日現在、定員 7 人以内）
- ・開催状況 12 回（平成 30 年度）

10 岡山市思春期精神保健審議会

岡山市精神保健福祉に関する審議会設置条例の規定に基づき、思春期精神保健関連事業について専門的見地から協議・評価する機関として、専門的知識を有する専門職、関係機関の代表等により構成している。

- ・設置年月日 平成 23 年 4 月 1 日
- ・定数 15 人以内
- ・開催状況 0 回（平成 30 年度）

11 岡山市依存・嗜癖関連問題対策審議会

岡山市精神保健福祉に関する審議会設置条例の規定に基づき、地域における依存・嗜癖関連問題対策について、専門的見地での評価等について協議する機関として、専門知識を有する医師等により構成している。

- ・設置年月日 平成 23 年 4 月 1 日
- ・委員数 13 人（平成 31 年 4 月 1 日現在、定員 15 人以内）
- ・開催状況 1 回（平成 30 年度）

12 岡山市精神障害者地域支援対策審議会

岡山市精神保健福祉に関する審議会設置条例の規定に基づき、精神障害者の地域移行・地域定着支援の円滑な推進に関すること及び、精神障害者の地域生活を支える施策について、専門的見地での評価等を行う機関として、専門職、関係機関の代表等により構成している。

- ・設置年月日 平成 23 年 4 月 1 日
- ・委員数 10 人（平成 31 年 4 月 1 日現在、定員 15 人以内）
- ・開催状況 1 回（平成 30 年度）

13 岡山市がん対策推進委員会

岡山市がん対策推進条例に基づき、がん対策の推進に関する施策について重要な事項及び、施策の実施状況について調査や意見を述べる機関として、がん患者及びその家族等で構成される団体を代表する者、保健医療関係者、学識経験者等の代表により構成している。

- ・設置年月日 平成 23 年 9 月 1 日
- ・委員数 20 人（平成 31 年 4 月 1 日現在）
- ・開催状況 2 回（平成 30 年度）

14 岡山市歯と口腔の健康づくり推進協議会

岡山市歯と口腔の健康づくり条例に基づき、歯と口腔の健康づくりに関し、必要な調査審議等を行う機関として、市民、保健医療等関係者、学識経験者、関係行政機関の職員等により構成している。

- ・設置年月日 平成 25 年 6 月 13 日
- ・委員数 14 人（平成 31 年 4 月 1 日現在）
- ・開催状況 2 回（平成 30 年度）

15 岡山市指定難病審査会

難病法第 6 条第 1 項に基づき、特定医療費（指定難病）支給認定の審査を行う機関として、専門知識を有する医師により構成している。

- ・設置年月日 平成 30 年 4 月 1 日
- ・委員数 5 人（平成 31 年 4 月 1 日現在）
- ・開催状況 14 回（平成 30 年度）

